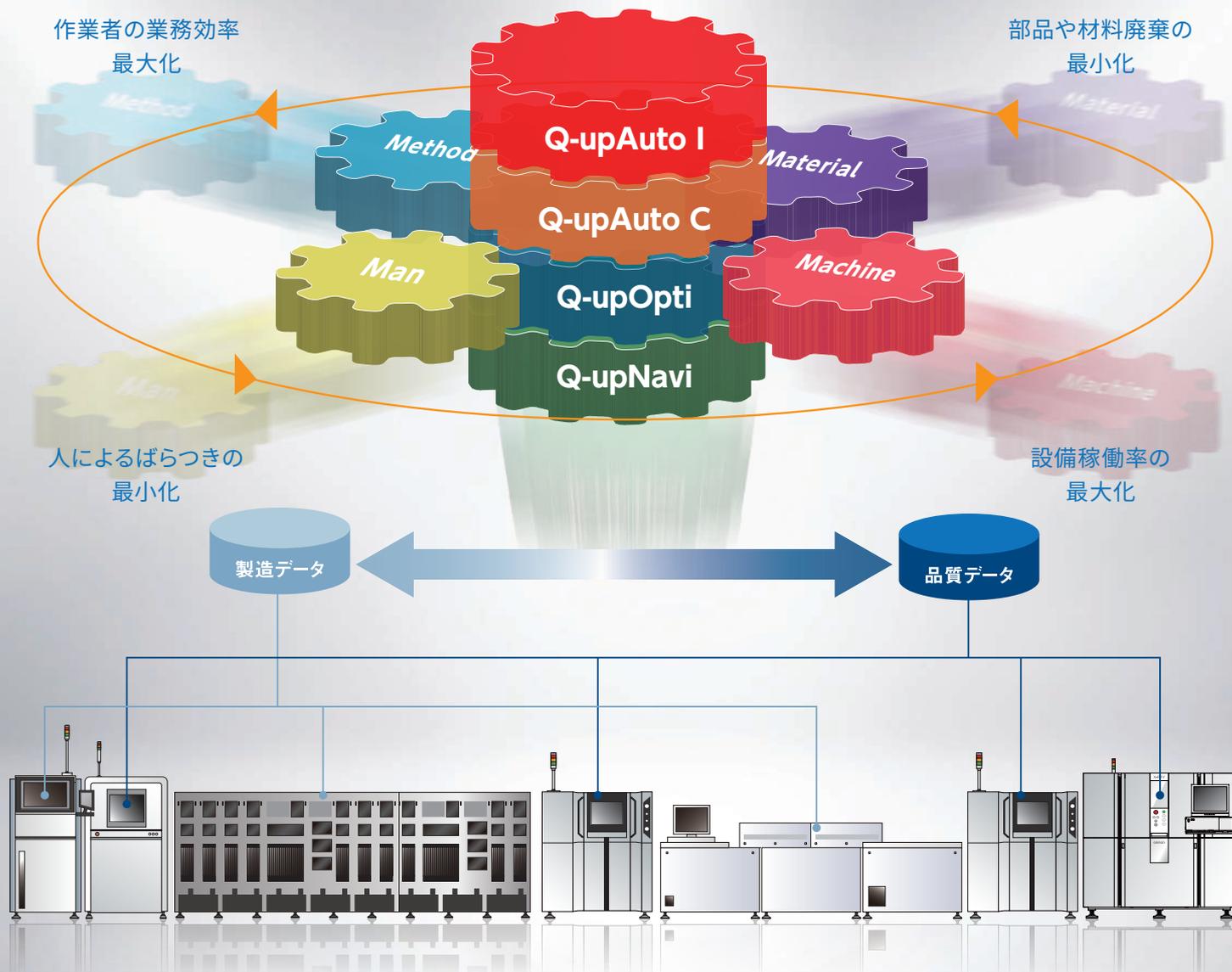


オムロンは、
『不良をつくらないものづくり』
を支援します。

“品質に影響を及ぼす”生産の4Mデータをリアルタイムに捉え、
検査装置の品質情報を起点とした効率的な改善活動を支援。

生産性向上ソリューション



Q-upAuto feat.Inspection (略称：Q-upAuto I)



- ・検査機稼働状況が把握しきれず、対策が後手になり、検査ロスや後戻りが発生している。
- ・担当者が限られており、検査機デバックの時間が確保できない。
- ・生産レポートなどの定型業務に時間を要している。

Q-upAuto I:リアルタイム自動分析で検査機運用の生産性を改善

ダッシュボード

スキルレスに全検査機の稼働状態を見える化。
リアルタイムに検査異常に気付くことができ、検査生産ロスを最小化



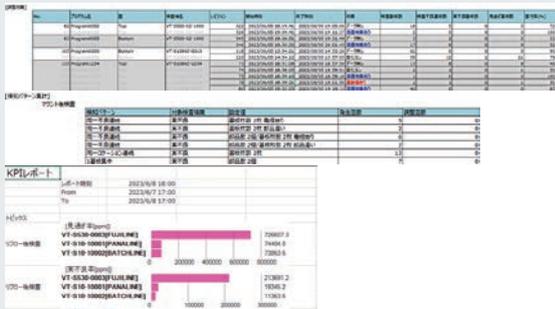
検査状況通知

検査異常を自動分析してプッシュ通知。限られたティーチング時間でもチューニングすべき品番がすぐわかり、業務効率がアップ



自動レポート

日報/週報/月報や、改善効果の確認として直行率/虚報率/異常通知件数などの変化を自動レポート。間接作業工数を大幅削減



パフォーマンス比較

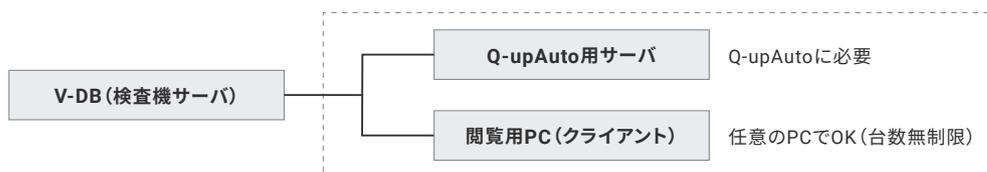
時系列に、ライン単位や検査プログラム単位で、直行率や虚報率の改善効果を確認。改善業務効率アップ



無償トライアルできます

ご利用中のV-DBで、お客様ご自身でトライアルを開始できます。ご希望の方はお問い合わせください。

正式利用時のシステム



Q-upAuto対応バージョン:S10シリーズ V4.01.00A以上、S730/530シリーズ V3.03.00C以上、V3.04.00A以上

サブスクリプションのご紹介

Q-upAuto I / Cは、サブスクリプションでのご提供になります。最短1カ月単位でのお申し込みが

Q-upAuto feat.Component (略称：Q-upAuto C)



- ・不良を発生させない良品モノづくりを実現したい。
- ・リフロー後検査の品質基準を起点に、マウンタ工程の課題対策に取り組みたい。
- ・マウンタ工程の生産性維持や定型レポート業務の自動化に取り組みたい。

Q-upAuto C:検査結果データとマウンタデータをリアルタイムに連携させ、良品モノづくりを支援

分析支援 (検査データとマウンタデータの連携分析)

検査機の「不良」判定情報を起点に、マウンタ因子(ノズルやヘッド、フィーダーの状態)とひもづけし、自動的に因果関係を分析。マウンタへの根本対策が可能



品質通知

マウンタ工程に起因する品質低下や異常を検知したら品質通知を受信。問題となっているマウンタ因子(ノズルやヘッド、フィーダー)の詳細状態を把握でき、対策が効率化



作業指示支援

マウンタ工程に起因する異常を通知したら、作業指示通知を受信。問題となっているノズルやフィーダーへの迅速・適切な処置が可能



自動レポート

日報、週報、月報を自動作成。マウンタ因子(ノズルやヘッド、フィーダー)ごとに品質結果やエラー記録、機種別の検査直行率や不良率が確認可能



システム構成(概要)

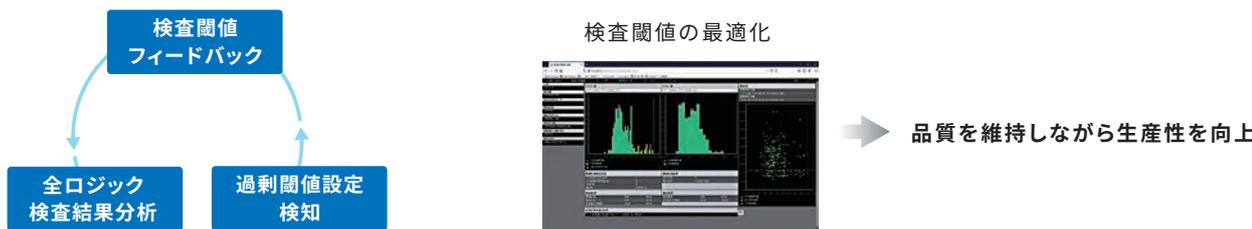


Panasonic様、FUJI様より、オムロンQ-upAuto接続用ライセンスのご購入が必要です。詳細はPanasonic様、FUJI様にお問い合わせください。
Q-upAuto対応バージョン:S10シリーズ V4.01.00A以上、S730/530シリーズ V3.03.00C以上、V3.04.00A以上

Q-upOpti

「工程検査装置の運用最適化」

リフロー後検査機の品質基準から、SPI(印刷後検査機)とリフロー前検査機の検査閾値を最適化します。



Q-upNavi

各工程検査機からの品質データ(不良画像、検査結果など)や、生産性情報(不良/虚報率)を分析



検査結果分析	工程照合	カラーマップ	生産状況表示
あらかじめ設定した条件で分析結果を表示	全ての部品について各工程の検査結果をひもづけて表示	品質の変動を「部品」と「時間」のマトリクスで表示	検査不良率及び実不良率の推移を表示
熟練者に頼らず誰でも分析ができる	不良発生工程が一目でわかる	突発不良と傾向不良の切り分けが簡単	改善対象の目付けが簡単

他社設備との連携

マウンタメーカー

- 株式会社FUJI Nexim ● パナソニック株式会社 iLNB

印刷検査機メーカー

- CKD株式会社 VPシリーズ

- 本誌に記載されているアプリケーション事例は参考用ですので、ご採用に際しては機器・装置の機能や安全性をご確認の上、ご使用ください。
- 本誌に記載のない条件や環境での使用、および原子力制御・鉄道・航空・車両・燃焼装置・医療機器・娯楽機械・安全機器、その他人命や財産に大きな影響が予測されるなど、特に安全性が要求される用途に使用される際には、当社の意図した特別な商品用途の場合や特別の合意がある場合を除き、当社は当社商品に対して一切保証をいたしません。
- 本製品の内、外国為替及び外国貿易法に定める輸出許可、承認対象貨物(又は技術)に該当するものを輸出(又は非居住者に提供)する場合は同法に基づく輸出許可、承認(又は役務取引許可)が必要です。

オムロン株式会社

インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー
検査システム事業本部

〒108-0075 東京都港区港南2-3-13
品川フロントビル7F

営業部 営業1課(東京) / 03-6718-3550
営業2課(名古屋) / 052-561-0156
営業3課(大阪) / 06-6347-5840

オムロン 基板検査装置

検索

装置の動画がご覧いただけます!

OMRON INDUSTRIAL AUTOMATION (CHINA) CO., LTD.

F20,TowerA,NEO Building,6011ShennanAvenue,
Futian District, Shenzhen, Guangdong
518048, China
TEL:+86-755-8359-9028 FAX:+86-755-8359-9628
http://www.omron-aoi.net/

Omron AOI Business Europe, Omron Europe B.V.

Zilverenberg 2, 5234 GM 's-Hertogenbosch,
The Netherlands
TEL:+31(0)736 481811 FAX:+31(0)736 481879
AOI.Info@eu.omron.com
http://www.aoi.omron.eu

OMRON TAIWAN ELECTRONICS INC.

9F-1, No.8, Ziqiang S. Rd., Zhubei City, Hsinchu
County 302, Taiwan R.O.C.
TEL: +886-3-667-5557 FAX: +886-3-667-5558
https://www.omron.com.tw/

OMRON ELECTRONICS KOREA CO.,LTD.

21F, KyoboTower B Wing, 465, Gangnam-daero,
Seocho-gu, Seoul, Korea 137-920
TEL:+82-2-3483-7789 FAX:+82-2-3483-7788

Omron Asia Pacific Pte Ltd

438B Alexandra Road #08-01/02
Alexandra Technopark, Singapore 119968
Tel:(65)6835-3011 Fax:(65)6835-2711

Omron Automation Pvt. Ltd.

The Qube, 5th Floor, Unit No. 501-504 MV Road,
Marol, Andheri (East), Mumbai - 400 059, India
Fax: (91-22) 7115 5602

OMRON ELECTRONICS LLC

2895 Greenspoint Parkway, Suite 200,
Hoffman Estates, IL 60169, U.S.A
TEL:(1) 847-843-7900 FAX:(1) 847-843-7787